

「5つの分教室の観察日記」博物館

“こくぼくん”とみんなの観察日記 ～畑から始まる協働的な学び～

所属名 : 京都府 京都市立桃陽総合支援学校

実践学年組: 小学部

氏名: 山口 香里, 中園 正吾

実践記録の概要 (単元略案)

全 26 時間

時数	学習活動	先生の指導・支援 および評価	コラボノート の活用
4月	自己紹介をし、観察日記を開始	みんなの好きな動物や食べ物を確認。“こくぼくん”も一緒に応えることで、さらに参加してもらうようにした。	まずは、付箋にどんどん書いてもらい、使い方を知ってもらう。
2	リクエスト募集 (夏編) ・夏に向けて育つものを調べる。	分教室の児童にリモートカメラを知ってもらい、観察の準備ができるようにした。	リクエストを付箋で貼ってもらう。 動画を添付。
5月	畑作りスタート	リクエストを参考に、種 (たね) をまいたり、苗をうえたりする手順を示す。	写真を貼ることを中心に状況を理解してもらう。 動画を添付。
2	観察開始 (ポットから畑の植え替え)	分教室からリモートカメラで見つけたものをコメントしてもらった。	付箋での書き込み。
2	テレビ会議システムで交流	種まきや苗植えを中継して観てもらう。 本校から分教室のみんなにクイズを行うなど交流を図った。	コメントでの交流と、その中で見つけたものの共有。
6~ 7月	動物 (幼虫) の観察 夏の植物の観察	日記形式になっており、生き物の成長過程を分かりやすく知ってもらう。	写真と動画の添付。
9月	自然の力を知る (台風)	台風下の植物の様子やみんなへの安否確認コメントで、生きる力や他者への関わりを意識付けた。	みんなへのコメントを付箋で。 台風の様子動画を添付。
10~ 11月	リクエスト募集 (冬編) ・冬に向けて育つものを調べる。	分教室のみんなが 考えてくれた冬の野菜のたねを 本校小学部がたねまきしたり、苗 (なえ) をうえたりした。	感想や気づきを付箋で。 動画レポートを添付。

12~ 2月	冬の植物の観察	種まきや苗植えを中継して観てもらう。 本校から分教室のみんなにクイズを行うなど交流を図った。 “こくぼくん”が再度自己紹介して、新しい児童への参加を促した。	写真中心に。 感想や気づきを付箋で。 動画添付。
通年	日記へのコメント	“こくぼくん”の気持ちで、日記文章、写真、動画をコラボノートに貼り付け、配信した。	随時書き込まれるコメントによる交流。